

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	つばさ学園改修事業			会計	款	項	目	大	小
				01	03	02	07	02	59
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	児童発達支援センター				
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	長谷川 聖二				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	概ね2歳から18歳未満で、成長や発達に心配がある児童及びその保護者。	意図	利用者の増加に伴い駐車場の拡充を行うことで利用者の利便性を図る。
事業内容	平成27年度から児童発達支援センターとして組織改編をしたことに伴い、分散されている施設の集約化を図るため、増改築工事を行う。平成27年度は施設設計を行い、平成28年度で公庫を3期に分けて、施設を休園することなく工事を行い、平成29年3月に増改築を完成させた。平成29年度は、緊急時の通路確保及び利用者の駐車場の確保を行い利便性を向上させる。			
事業開始から現在までの状況変化	平成28年度に分散されていた施設（幼児ことばの相談室）の集約化を図り新築棟の建築等、建物の設備を充実させた。平成29年度には集約化に伴う利用者の増加及び利用者のための避難通路の確保に努めるべく駐車場の整備を実施する予定である。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	事業進捗率		100	100	%	→→	総事業費
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 駐車場（マイクロバスの駐車場を確保）を整備したことで、緊急時の避難通路を確保できた。また、利用者の駐車スペースを確保したことで利便性を向上させた。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)			92,846,304	5,296,320				
事業費(b)(円)			82,548,804	5,296,320				
うち一般財源				797,320				
職員給与費(c)(円)			10,297,500					
人役・職員(人)			1.50					
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	平成28年度に児童発達支援センターの施設集約化を行い施設を増改築したため、緊急時の通路確保及び児童発達支援センター等の利用者駐車場の整備が必要である。	③取組の課題	工事期間中に事故等ないように、監視員を配置し安全配慮に万全を期す。
②今年度(H29)に実施した取組	駐車場の整備を行い、マイクロバス3台及び利用者駐車スペース11台分を整備した。また、このことで緊急時の避難通路を確保した。	④今後(H30以降)の改善計画	つばさ学園4教室に床暖房がない状況である。医療的ケア児及び体温調節が上手にできない園児への対応が必要である。